



今年の夏も恐怖の演出・ミッションがパワーアップ！
 お化け屋敷「怨霊座敷」夏の特別演出
 『怨み針の女』開催

2019年7月13日（土）～9月23日（月・祝）

東京ドームシティ アトラクションズでは、2019年7月13日（土）～9月23日（月・祝）の期間、お化け屋敷「怨霊座敷」の恐怖の演出・ミッションをさらにパワーアップし、夏の特別演出として『怨み針の女』を開催します。

2018年4月にオープンした「怨霊座敷」は、＜靴を脱いで入る＞お化け屋敷です。オープンからの1年間で延べ約18万人のお客様に恐怖をお届けしてきました。※入場者数は2018年夏の特別演出『超・怨霊座敷』を含む

恐怖演出がパワーアップする今年の夏の特別演出では、床下に埋められた夜雨子がさらに強い怨念を持った『怨み針の女』として登場します。また、お客様には＜夜雨子が枕の下に隠した写真を探し出す＞という重要なミッションが与えられます。果たして、夜雨子の怨念を解いて無事に戻ることができるでしょうか…。

17時以降の【ハード ver.(夜の部)】は、16時までの【ノーマル ver.(昼の部)】よりも恐怖の演出ポイントがさらに倍増し、恐怖度が何倍にもアップします。夏の暑さを吹き飛ばす恐怖のエンタテインメントを、ぜひお楽しみください。

【開催概要】

- ◎タイトル: お化け屋敷「怨霊座敷」夏の特別演出『怨み針の女』
- ◎開催期間: 2019年7月13日（土）～9月23日（月・祝）[73日間]
 ※7/1(月)～12(金)の期間、お化け屋敷「怨霊座敷」の営業は休止
 ※『怨み針の女』開催期間終了後、お化け屋敷「怨霊座敷」は9月末ごろより営業再開予定
- ◎開催時間: 【ノーマル ver.(昼の部)】10:00～16:00
 【ハード ver.(夜の部)】17:00～22:00
 ※【ノーマル ver.】と【ハード ver.】で演出が一部異なる
 ※混雑状況により受付終了時刻が変更の場合あり
 ※8/10(土)～18(日)は9:30開園
 ※9/2(月)以降は21:00閉園
- ◎開催場所: 東京ドームシティ アトラクションズ ラクーアゾーン1F
- ◎料金 金: 1,030円(【ノーマル ver.】【ハード ver.】共通)
 ※【ノーマル ver.】はワンデーパスポート・ライド5・乗り物1回券での入場可
 ※【ハード ver.】はワンデーパスポート・ナイト割引パスポート・ライド5・乗り物1回券での入場不可
- ◎入場規定: 6歳以上
- ◎企画・制作: (株)オフィスバーン
- ◎プロデュース: 五味弘文氏
- ◎映像演出: チームラボ
- ◎URL: <https://at-raku.com/attractions/laqua/onryouzashiki/>
- ◎Twitter: @at_raku_obake



お客様からのお問い合わせ先: 東京ドームシティ アトラクションズ TEL. 03-3817-6001

【ストーリー】

その家には、かつて夜雨子という女性が暮らしていました。しかし、夫とその浮気相手の謀みによって、病に倒れてしまいます。二人の悪行は止まることなく、寝ている夜雨子の前で、彼女の顔写真に針を刺します。夜雨子が、写真から針を抜いて枕の下にしまっても、翌日には同じことを繰り返します。彼女は疲弊し、とうとう亡くなってしまいました。二人は死体を床下に埋めて、家を出て行きました。

その後、その家に引っ越して来た夫婦は、奇妙な経験をするようになります。真面目だった夫が浮気を始めるようになり、帰りを待つ妻の布美子の耳に、女の声が聞こえてきます。「あいつに、私と同じ苦しみを味あわせてやる。さあ、針を刺せ」

帰宅した夫は、布団に入った直後、絶叫をあげます。枕の中に大量の針が仕込まれていたのです。次の瞬間、針を持った布美子が覆い被さってきました。その顔は布美子ではなく、あの夜雨子の顔でした。彼女の呪いは、今でもその家に染みついていたのです。

その怨念を解く方法はたったひとつ。夜雨子の枕の下に隠された写真を探し出してやることだけです。その写真には、大量の針穴が開いています……。

【お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏】

1957年、長野県生まれ。

1992年から、東京ドームシティ アトラクションズのお化け屋敷を手がける。お化け屋敷にストーリーを持ち込み、お客様に役割を担わせることでそのストーリーに参加させるスタイルを確立する。

東京ドームシティ アトラクションズでプロデュースしたお化け屋敷の代表作に、赤ん坊を抱いて歩く『赤ん坊地獄』、手錠に繋がれて歩く『恐怖の手錠地獄』、十年間隠れたままの男の子を見つける『恐怖のかくれんぼ屋敷』、怨霊の薬指に指輪をはめる『呪い指輪の家』などがある。

2019年夏には札幌、大阪など全国5ヶ所でお化け屋敷を展開予定で、お化け屋敷プロデューサーとして全国各地で活躍中。

『人はなぜ恐怖するのか？』（メディアファクトリー）、『お化け屋敷になぜ人は並ぶのか』（角川 one テーマ21）、小説『憑き歯〜密七号の家』（幻冬舎文庫）などの著書もある。



五味弘文氏

◆五味弘文氏プロデュースの東京ドームシティ アトラクションズお化け屋敷 代表作



1996年夏
『赤ん坊地獄』



2014年夏
『恐怖のかくれんぼ屋敷』



2015年夏
『呪い指輪の家』



2018年夏
『超・怨霊座敷』

【チームラボ】

最新のテクノロジーを活用したシステムやデジタルコンテンツの開発を行うチームラボは、アーティスト、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、デジタル社会の様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジー集団。アート、サイエンス、テクノロジー、クリエイティビティの境界を越えて、集团的創造をコンセプトに活動している。47万人が訪れた「チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地」(2014年)、「ミラノ万博2015」日本館をはじめ、シリコンバレー、台北、ロンドン、パリ、ニューヨーク、中国、シンガポールなど国内外で常設展およびアート展を開催。東京・お台場に《地図のないミュージアム》「森ビルデジタルアートミュージアム：エプソン チームラボボーダレス」を常設。2020年秋まで東京・豊洲に超巨大没入空間「チームラボ プラネッツ TOKYO DMM.com」開催中。

URL: <http://www.team-lab.com/>

